

グラフィックデザイン科

作品研究1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	藤田祐子			実務経験	有	職種	美術家				

授業概要

本授業では、「作品」を人の手によって意識的に生み出されたモノやコンテンツとして捉えている。他者が制作した「作品」を通じて他者の想いを慮り、また「作品」を通じて自分の視点を明確にして、考え方や想いを他者に伝えられることはクリエイターとしての第一歩である。本授業では、作品を通じて作者と、そして他者とのコミュニケーションを行っていくことを目的としている。

到達目標

様々な作品を通して、多角的にモノを見ることが出来るようになることが大目標である。その為には、他者と積極的な意見交換をして自分には無い考え方や感覚に触れて視野を広げることである。他者の言葉を傾聴することと、自身の考えを明快な言葉にして他者へ伝えられることが目標である。

授業方法

グループワークを通じて展開する場面も多くある。与えられた課題テーマに対して、積極的に意見交換をすることが求められる。グループによる意見交換後は、クラス内へ発表をしていく。発表の方法は、ただ口頭で展開するにとどまらない。視覚的な効果を含み、プレゼンテーションすることを求める。また、最終課題は個々人の研究を成果として発表する。

成績評価方法

課題40%課題を総合的に評価する。
レポート20%授業内容の理解度を確認するために実施する。
成果発20%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。
平常点20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。自ら関心をもって情報を取材し発表するだけではなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。

教科書教材

参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション
第2回	ビブリオバトル①
第3回	ビブリオバトル②

第 4 回	テーマ性をもった作品研究 I ①
第 5 回	テーマ性をもった作品研究 I ②
第 6 回	テーマ性をもった作品研究 II ①
第 7 回	テーマ性をもった作品研究 II ②
第 8 回	作品鑑賞①
第 9 回	作品鑑賞②
第 10 回	キャッチフレーズ①
第 11 回	キャッチフレーズ②
第 12 回	わたしの作品研究①
第 13 回	わたしの作品研究②
第 14 回	発表①
第 15 回	発表②